

## 身体障害者診断書・意見書

総括表

（脳原性運動機能障害用）

氏名	年 月 日生（ ）歳	男・女
住所		
① 障害名 (障害のある身体部位も明記)		
② 原因となった 疾病・外傷名		交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災、 自然災害、疾病、先天性、その他 ( )
③ 疾病・外傷発生年月日 年 月 日・場所		
④ 参考となる経過・現症（リハビリを含め障害固定までの経過を明記してください。）		
障害固定又は障害確定（推定） 年 月 日		
⑤ 総合所見（上肢・下肢・体幹の機能の障害程度を具体的に記入してください。）		
【 将来再認定 要（軽減化・重度化）・ 不要 】（再認定時期 年 月）		
⑥ その他参考となる合併症状		
<p>上記のとおり診断します。併せて以下の意見を付します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>病院又は診療所の名称</p> <p>所在地</p> <p>電話番号</p> <p>診療担当科名 科 15条指定医師氏名</p>		
<p>身体障害者福祉法第15条第3項の意見</p> <p>障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当する ( ) 級相当</li> <li>・該当しない</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※2つ以上の障害が重複する場合は、手引（総括事項）を参照し、各指数の合計値から総合等級を算定してください。</p> <p>※7級の障害が1つのみの場合、身体障害者手帳は交付されません。</p> </div>		
<p>備考 1 「①障害名」には、病名ではなく現在起こっている身体部位を含めた障害名（右上下肢麻痺、四肢体幹機能障害、移動機能障害等）を記入してください。</p> <p>2 「②原因となった疾病・外傷名」には、原因となった基礎疾患名（脳梗塞、<small>こうそく</small>脊髄小脳変性症、<small>せき</small>脳性麻痺等）を記入してください。</p> <p>3 障害区分や等級決定のため、相模原市社会福祉審議会審査部会からお問合せする場合があります。</p>		

## 脳原性運動機能障害用

この様式は、脳性麻痺<sup>ひ</sup>及び乳児期に発現した障害によって脳性麻痺<sup>ひ</sup>と類似の症状を呈する者で肢体不自由一般の測定方法を用いることが著しく不利な場合に適用します。

(該当するものを○で囲んでください。)

### 1 上肢機能障害

#### ア 両上肢機能障害

<ひも結びテスト結果>

1 度目の 1 分間 \_\_\_\_\_ 本

2 度目の 1 分間 \_\_\_\_\_ 本

3 度目の 1 分間 \_\_\_\_\_ 本

4 度目の 1 分間 \_\_\_\_\_ 本

5 度目の 1 分間 \_\_\_\_\_ 本

計 \_\_\_\_\_ 本

#### イ 一上肢機能障害

<5 動作の能力テスト結果>

a 封筒をはさみで切る時に固定する (可能・不可能)

b 財布からコインを出す (可能・不可能)

c 傘をさす (可能・不可能)

d 健側の爪<sup>つめ</sup>を切る (可能・不可能)

e 健側のそで口のボタンを止める (可能・不可能)

### 2 移動機能障害

<下肢・体幹機能評価結果>

a 伝い歩きをする (可能・不可能)

b 支持なしで立位を保持しその後 10m 歩行する (可能・不可能)

c いすから立ち上がり 10m 歩行し再びいすに座る (可能・不可能)

\_\_\_\_\_ 秒

d 50 cm 幅の範囲内を直線歩行する (可能・不可能)

e 足を開き、しゃがみこんで再び立ち上がる (可能・不可能)

(備考) 上肢機能テストの具体的方法

ア ひも結びテスト

事務用とじひも（概ね 43 cm 規格のもの）を使用します。

① とじひもを机の上、被験者前方に図のように置き並べてください。

② 被験者は手前のひもから順にひもの両端をつまんで、軽くひとむすびしてください。

(注) ・上肢を体や机に押し付けて固定してはいけません。

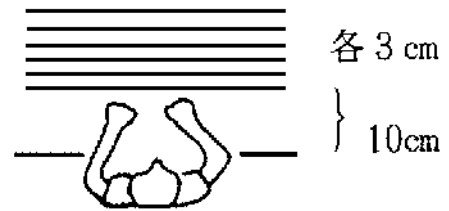
・手を机上に浮かしてむすんでください。

③ 結び目の位置は問いません。

④ ひもが落ちたり、位置から外れたときには検査担当者が戻してください。

⑤ ひもは検査担当者が随時補充してください。

⑥ 連続して 5 分間行っても、休み時間を置いて 5 回行ってもかまいません。



イ 5 動作の能力テスト

a 封筒をはさみで切る時に固定する。

患手で封筒をテーブル上に固定し、健手ではさみを用い封筒を切ります。

患手を健手で持って封筒の上に乗せてもかまいません。封筒の切る部分をテーブルの端から出してもよいです。はさみはどのようなものを用いてもよいです。

b 財布からコインを出す

財布を患手で持ち、空中に支え（テーブル面上ではなく）、健手でコインを出します。ジッパーを開けて閉めることを含みます。

c 傘をさす

開いている傘を空中で支え、10 秒間以上まっすぐ支えてください。立位でなく坐位のままでもよいです。肩に担いではいけません。

d 健側の爪<sup>つめ</sup>を切る

大きめの爪切り<sup>つめ</sup>（約 10 cm）で特別の細工のないものを患手で持って行きます。

e 健側のそで口のボタンを止める

のりのきいていないワイシャツを健肢にそでだけ通し、患手でそで口のボタンを止めてください。女性の被験者の場合も男性用ワイシャツを用いてください。